

参加費
無料

G-Cube 第1回

蒼碧セミナー

2025.2.7 Fri.
13:30 - 17:30

参加申し込み

<https://forms.gle/ip7VjPKShtHTJvGQA>

*現地のみの開催です(オンライン配信は行いません)



会場 東北大学大学院環境科学研究所
本館1階 展示スペース2

セントロメアクロマチンの構築と崩壊

京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター
松本 智裕 教授

ヒストン H3 のバリアントである Cenp-A を特異的に含むセントロメアクロマチンは、1) Cenp-A ヌクレオソームの存在領域のサイズは生物種ごとに一定であり、2) その染色体上での位置が不動なことである。これらのルールが破綻すると、動原体機能に異常を来す。セントロメアにおいて Cenp-A ヌクレオソームが適切に存在するためには、Cenp-A ヌクレオソームの取り込み機構のみではなく、過剰な Cenp-A ヌクレオソームの排出機構が必要である。本セミナーでは、Cenp-A ヌクレオソームの排出に関わる 2 種の機構について解説する。また、発生、分化、ストレス応答等の重要な局面において、セントロメアから大部分の Cenp-A ヒストンが除去される現象（セントロメア崩壊）について議論したい。

分裂酵母 Wee1 キナーゼの動原体と 微小管の接続における新規機能の解析

京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター
高堂 将広 特任助教

細胞の増殖は生命を特徴づける最も根源的な性質の一つであり多数のステップから成り立っている。中でも細胞の分裂は母細胞の内容物を娘細胞に分配する動的な過程でありながらゲノムを均等に分配する精密さが求められる過程でもある。Wee1 キナーゼは分裂の「タイミング」を制御するタンパク質として長く研究されてきたが、最近我々は Wee1 がこの機能とは別にゲノムの均等分配の精密さを担うことを見出したので紹介したい。

「美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの
醸成共創拠点」プロジェクト WEB サイト

▶ <https://gastro-geopolis.com/gastro/>

本研究は、JST 共創の場形成支援プログラム JPMJPF2110 の支援を受けたものです。

プログラム

- ▶ 13:30 主旨説明・プロジェクト紹介
東北大学大学院農学研究科
村上弘章 助教
- ▶ 13:50 「セントロメアクロマチンの構築と崩壊」
京都大学大学院生命科学研究科附属
放射線生物研究センター
松本智裕 教授
- ▶ 15:00 「分裂酵母 Wee1 キナーゼの動原体と
微小管の接続における新規機能の解析」
京都大学大学院生命科学研究科附属
放射線生物研究センター
高堂将広 特任助教
- ▶ 16:00 ・・・ 休憩 ・・・
- ▶ 16:15 ポスターセッション
- ▶ 17:30 閉会の挨拶
東北大学大学院環境科学研究所
三橋正枝 特任助教

主催 美食地政学イノベーターズガレージ
(G cube)



問い合わせ 東北大学大学院環境科学研究所環境研究推進センター
地域共創ビジョン推進室

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1
TEL. 022-752-2239 E-mail. erpc_vision@gastro-geopolis.com

